

## VI 数値目標の設定

平成 27 年度から平成 29 年度までを計画期間とする第 4 期計画の数値目標設定については、相談支援事業所等、関係機関と十分連携したなか、障がいのある方個々の状況やニーズに基づき、サービス種別やサービス量を見込みます。

また、既にサービスを利用している障がいのある方に加え、退所や退院により地域に移行する障がい者、あるいは養護学校等卒業者等、新たにサービスを受ける方等の状況を踏まえ、更には第 3 期障がい福祉計画の実績等も考慮したうえでの数値目標とします。

なお、平成 26 年度の数値は平成 27 年 1 月までの実績数値の平均となっています。

### 1. 訪問系サービス

#### (1) 居宅介護

ここ数年、利用者数については、月 35 人前後で横ばい状態が続いておりましたが、相談支援事業所等を通じて、今まで少なかった精神障がい者の利用申し込みも多くなってきている状況です。今後、難病患者の利用も含め、介護保険制度移行を相殺して微増していく傾向と思われます。

#### ◆居宅介護利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	31	25	25	27	32	36	35	35	43	45	46	48
時間	454.5	399	463	455	388	420	401	444	512	520	530	550

#### (2) 重度訪問介護

本市では平成 26 年度まで利用実績はありません。国では重度訪問介護の対象拡大を進めており、今後、在宅での環境整備が充実、推進される中、障がい者やその家族のニーズを把握し、サービス見込量をたてます。

#### (3) 同行援護

平成 23 年 10 月から新たなサービスとして開始され、視覚障がい者の外出時に同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護等を行うサービスで、月 4～5 人の利用実績があります。今後もほぼ同程度の利用が見込まれます。

#### ◆同行援護利用者数の実績と見込量

年度	H24	25	26	見込量		
				27	28	29
人数	2	4	4	5	5	6
時間	12	30	32	40	40	50

#### (4) 行動援護

一人では行動のできない知的障がい者や精神障がい者を対象としたサービスで、ここ数年月5人の利用実績となっています。札幌近郊でのグループホーム入居者や滝川市近辺では、ないえ福祉会で実施している福祉有償運送を利用しているサービスの活用が見られ、今後も同程度の利用が見込まれます。

##### ◆行動援護利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	0	1	2	4	5	5	5	5	5	5	6	6
時間	0	40	34	84	43	60	35	38	45	40	50	50

#### (5) 重度障害者等包括支援

本市では平成 26 年度まで利用実績はありません。今後、在宅での環境整備が充実、推進される中、障がい者のニーズを把握し、サービス見込量をたてます。

## 2. 日中活動系サービス

#### (1) 生活介護

重症心身障がい者を対象とした滝川通園事業所・たんぼぼの家の利用者が制度改正により平成 24 年度から生活介護サービスに変更され、また在宅の障がい者では赤平虹の里デイサービスセンターの通所等利用者の増加が見られました。今後、在宅通所者や養護学校卒業者で介護が必要な方等新規利用者の微増が見込まれます。

##### ◆生活介護利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	6	8	20	37	76	99	114	120	124	130	132	135
日数	73	95	331	655	1,574	2,080	2,275	2,397	2,470	2,860	2,904	2,970

#### (2) 療養介護

重症心身障がい者施設入所者の日中活動について、平成 24 年度から実施機関が北海道から滝川市に移行となり、利用者の増加がありました。

##### ◆療養介護利用者数の実績と見込量

年度	H23	24	25	26	見込量		
					27	28	29
利用人数	1	10	10	10	10	10	10

### (3) 自立訓練（機能訓練）

身体障がい者の方が対象で、理学療法、作業療法その他必要なりハビリテーションと併せ生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行うサービスです。支給期間に制限があり、平成 23 年度 1 名の利用を最後に、その後の利用実績はありません。平成 28～29 年度 1 名の利用を見込みました。

#### ◆自立訓練（機能訓練）利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1
日数	0	0	19	23	23	23	0	0	0	0	22	22

### (4) 自立訓練（生活訓練）

知的障がい者又は精神障がい者の方が対象で、地域で自立した生活を送られるよう、生活能力の維持、向上を図るため必要な訓練、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行うサービスです。市内に新たに事業所が立ち上がったことに伴い、主に精神障がい者の利用増加がありました。支給期間に制限があるため、平成 27～29 年度 18 名の利用を見込みました。

#### ◆自立訓練（生活訓練）利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	0	0	4	7	6	4	4	9	20	18	18	18
日数	0	0	89	140	109	92	67	127	298	360	360	360

### (5) 宿泊型自立訓練

知的障がい者又は精神障がい者の方が対象で、日中、一般就労や障害福祉サービスを利用している方で、地域移行に向けて一定期間、居住の場を提供して帰宅後における生活能力等の維持、向上のための訓練、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行うサービスです。現在、旭川市と札幌市で 2 人の方が利用しており、今後も同程度の利用を見込みました。

#### ◆宿泊型自立訓練利用者数の実績と見込量

年度	H 24	25	26	見込量		
				27	28	29
利用人数	1	2	2	2	2	2

## (6) 就労移行支援

就労を希望する障がい者に一定の期間、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。一般就労に結びつけるため、ハローワークや障がい者就労・生活支援センター「ひびき」と連携し取り組み、今後も多くの障がい者の方が一般就労できるよう期待されています。

また、養護学校を卒業する障がい者に対しては、就労移行支援事業所のアセスメント及び相談支援事業所のモニタリングを進めながら、卒業後にスムーズにサービス提供ができるよう努めます。支給期間に制限があるため、利用実績を参考に各年とも 12 人を見込んでいます。

### ◆就労移行支援利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	3	2	7	5	10	9	7	6	9	12	12	12
日数	61	32	144	110	200	200	145	119	141	264	264	264

## (7) 就労継続支援（A型）

65 歳未満の障がい者に、就労に必要な知識、能力の向上を図るため、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労に向けた支援を行います。今まで赤平市の1か所のみでしたが、砂川市に新たに事業所が立ち上がり通所者が増加、札幌市を含め、新たに事業所が整備されるに伴い利用者も増加すると推測されます。

### ◆就労継続支援（A型）利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	0	2	2	3	2	2	3	8	11	15	18	18
日数	0	42	42	64	46	46	50	160	210	330	396	396

## (8) 就労継続支援（B型）

通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うサービスです。増加傾向にある精神障がい者の方、一般就労に結びつくことが困難な知的障がい者の方を対象に新たに事業所設立や定員増等、整備が進むことが予想され、今後のサービス利用希望者も増加していくこととされます。

◆就労継続支援（B型）利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	1	4	10	44	67	82	118	124	130	150	155	160
日数	6	64	160	689	1,253	1,560	2,058	2,197	2,290	3,300	3,410	3,520

(9) 短期入所

短期入所の利用もここ数年横ばい状態が続いています。光生舎虹の里等の福祉型と北海道療育園等の医療型に分かれています。今後、在宅障がい者の利用が増加することが見込まれます。

◆短期入所利用者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	11	6	6	6	7	7	6	6	9	13	15	15
日数	71	75	54	28	58	90	65	47	82	90	100	100



年度	見込量内訳					
	短期入所（福祉型）			短期入所（医療型）		
	H27	28	29	H27	28	29
人数	10	12	12	3	3	3
日数	70	80	80	20	20	20

3. 居住系サービス

(1) 施設入所者数の実績

平成 17 年 10 月時点で施設に入所していた本市の障がい者は 102 人で、平成 26 年 10 月時点では 77 人と 25 人の減となっています。

今までの主な動きとして、平成 22 年度に新十津川町の吉野園が施設入所を廃止しグループホームに転換されました。その後、各事業所でグループホームが整備されるなか、随時、地域移行が進められ、平成 18 年度から今までの施設入所者の地域移行の実績については、延べ 36 人となっています。

滝川市の施設入所者については、重度の障がいまたは高齢化により今後の地域移行者数は限られてきており、入所者数についても、ほぼ横ばいの状態が続いています。

施設入所支援については、国の目標である平成 25 年度施設入所者数の減少率 4%以上、滝川市に当てはめると 3 人となり、平成 29 年度 75 人の目標をたてました。

◆施設入所者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	102	98	102	98	99	93	79	78	77	80	78	75

(2) グループホーム入居者の実績

制度改正により、平成 26 年度からケアホームがグループホームに一元化され、介護サービス包括型と外部サービス利用型に分かれました。

グループホームは対象者が主に知的障がい者、精神障がい者の方が中心で平成 26 年度現在、滝川市内には定員数 81 人のグループホームが設置されています。前回計画以降、新たに滝川中央病院で長期入院者を対象に地域移行化を図り男性 6 人・女性 6 人、また、「こころ」が男性 10 人・女性 9 人、雨竜ことぶき会で男性 5 人・女性 4 人、滝川ほほえみ会で女性 4 人と整備され、環境整備に伴い入居者も増加しました。

今後もグループホームの施設整備が進むことが見込まれ、養護学校の卒業者や在宅の障がい者で親が高齢化して同居が困難になるケースが考えられます。また、精神障がい者の入居等、今後も施設整備や環境整備に併せて、入居者の利用も増加することが見込まれます。

◆グループホーム入居者数の実績と見込量

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	見込量		
										27	28	29
人数	16	24	32	43	53	68	67	74	81	87	90	92

4. 計画相談支援・地域相談支援について

国では、平成 26 年度末までにサービスを利用する障がい者全員に計画相談・サービス利用計画を作成するよう求めており、滝川市においても取り進めているところです。今後も相談支援事業所の新設、充実が図られるなか、障がい者個々に合った適正なサービスが支給できるよう取り進めていきます。

(1) 計画相談支援

◆見込量

年度	見込量		
	H27	28	29
利用人数	400	420	440

(2) 地域相談支援

ア 地域移行支援

障がい者支援施設や精神科病院のほか、新たに保護施設や矯正施設に入所している障がい者を対象に地域移行を図り、自立した日常生活を送られるよう支援を行うものです。

相談支援事業所及び病院、関係機関と十分連携し取り組んでいきます。

◆見込量

年度	見込量		
	H27	28	29
利用人数	3	3	3

イ 地域定着支援

主に地域移行された精神障がい者等、安定して地域で生活できるよう地域定着に向けて支援を行うものです。相談支援事業所のほか関係機関と連携を図り取り組んでいきます。

◆見込量

年度	見込量		
	H27	28	29
利用人数	3	3	3

5. 障がい児通所支援

平成 24 年度の制度改正に伴い、児童福祉法による障がい児の支援強化が図られました。滝川市内では、こども発達支援センター等 4 事業所が立ち上がり、新十津川町の 1 事業所を含め、利用者の増加がありました。

(1) 児童発達支援

障がいのある未就学児童を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練を行っています。

こども発達支援センターやたんぽぽの家の利用が主なものとなっています。

◆児童発達支援利用者数の実績と見込量

年度	見込量					
	H24	25	26	27	28	29
人数	67	61	63	70	75	80
日数	165	145	159	180	195	200

(2) 医療型児童発達支援

上記、児童発達支援のサービスのほか治療を提供するもので、滝川市内には事業所はありませんが、旭川市の事業所に通所していた児童もいたことから、サービス量を想定します。

◆医療型児童発達支援利用者数の実績と見込量

年度	見込量					
	H24	25	26	27	28	29
人数	1	0	0	1	1	1
日数	5	0	0	4	4	4

(3) 放課後等デイサービス

学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、学校教育と相まって障がい児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進するサービスで、事業所の整備が図られるなか、今後の利用者の増加が見込まれます。

◆放課後等デイサービス利用者数の実績と見込量

年度	見込量					
	H24	25	26	27	28	29
人数	29	38	42	45	50	50
日数	128	190	230	225	250	250

(4) 保育所等訪問支援

保育所、幼稚園、小学校等集団生活を営む施設を訪問し、障がい児以外の児童との集団生活への適応のため専門的な支援を行うもので、滝川市内では現在、実施しておりません。今後の動向を見て、計画をたてます。

(5) 障がい児童相談支援

障がい児の保護者や特別支援学級、養護学校等と十分連携を図り、障がい児個々の適切なサービス利用計画を作成します。

◆見込量

年度	見込量		
	H27	28	29
利用人数	140	145	150